

編集を進

心めてい

・ます。

発行

099-221-6604 ₹892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民大学中央センタ https://kenmindaigaku.tank.jp/ 099-221-6640

月月月月月月月月 16 1 122120191825

土金日土水土金火

日日日日日日日日

日日

の受講が可能となっております。イト講座も開設し、より多くの方々ライン配信により受講できるサテラ ます。 ーと市 生 涯 令和4年度に引き続きオン 町村が連携して講座を開設 学習二一 ま県 民大学中央センーーズに応えるた 民 大

設

|涯学習を推進する講座です

「とことんまなぶー講座」を開設本センターでは、大学等と連携し

まなぶ

で御覧ください。 - (ホームページ) で紹介しますの足の詳細については、本センターHの詳細については、本センター日常の手が、1機関で、15年度は、5大学等、1機関で、15年度は、5大学等、1機関

ター内や各市 また、県民交流セ

解決に向けてテー

代代的課題や一マ学習型

市

が

抱える課

題

して

行

-マを設

①5月19日

主に視聴覚ライブラ

視聴覚教材の

活用

及び Ú l

簡職

なの

員

11

町村

28

|講座実施

(予定)

か ま

② 6 月 16 日

e b

会議システムを活

の Ó

作成

を対 鹿 児

市

します。受機 での研修等な での研修等な (ホー ては、 対象として、 にれからの な 『域を支がい、、 研修等を行い、、 今後、本セン受講申込み等、 を支えるリー 込み等、詳細につい、次世代かごしい、次世代かごしい、次世代かごし地でがでいる。 ・センター

③7月21日(金

ンライン講座(初級編)」

ンライン講座(中級編)」

eb会議システムを活

9月15日(金

手の

心

をつ

か

む

広

報

•

チ

イア

「事業案内」を卸覧くどさたので、お知らせします。県民を対象とする令和5

5 詳年 細度 にの

つきましては、 主催事業等の!

、4月に発行予定概要がまとまりま.

のし

4月に発行予

を通して、ICT機器等を活用した人を通して、ICT機器等を活用したデジタル人材の育成器等を有効に活用できる指導者等を器等を有効に活用できる指導者等を 教育関係者等を対象としてICT機るために、市町村等生涯学習・社会充実及び視聴覚教材の利用促進を図市町村等におけるメディア研修の 器等を使用した研修を行い 講 ます

体環解的境消 実備向

|び機器整備でいた。| た産官学連携の呼 デジタルデバ

には・・・ ①5月17日(水)※鹿児島· 「デジタルデバイド解消を目 指

月28日(水)※大崎町 ②6月7日(水)※薩 Ш 内 市

③7月5日(水)※奄美市 簡単にできるコミュニケー

④ 11 月 8 日 ( ルとしてのオンライン活 (水)※姶良市

が変更になる場合があり※今後の状況により、開 術習得演習 の情報はホームペ ます 催 H 時 最等

ま県民大学中央センター「生涯学習だより」No.47

6

け促

とデジタルデバイド解消に向「eスポーツ等を通じた交流

とデジタルデバイド解消に

ショ 用

11

282016

座

内

会実実 場施期 等数間 主数

和5年度の開催予定

⑤ 10 月 20 日

ムを活用

たオンライン

講座(上

е

b会議シス

ラシつくり

座案内』を5月に発行する予定で 「各大学等の公開講座」「かごしま文 ゾーン施設が実施する各種講 などをまとめた『生涯学習講 [学習県民大学講座」「メディ 座」「とことんまなぶー講座

県内の各市 無斗 (現地研修・宿泊研修あり) (現地研修・宿泊研修あり) (現地研修・宿泊研修あり) (現地研修・宿泊研修あり)

月 泊研修は実費負 6 月上

旬

担

や技術支援として、関するICT活用にするICT活用に

サ

対等が実施

職員を派遣

たオンライン講座等の企画 e b 会議システム等を活

ニデオ編集に関すること 情報モラル教育に 関すること

ビデオ撮影やパソコンによる チラシづくりに関する 関すること

例及け 令和5年3月発行(1/2)

な整

が取組 る具

B

演習等を行い、実践力の向上を図しいて、先進的でモデル的な講義やいて、先進的でモデル的な講義や習・社会教育に関する講座や研修習・社会教育に関する講座や研修習・また、市町村における生涯学

るための講座で

月  $2\overline{2}$ 

の運 技営

ージ

日(水)※南さつま市

におけるweb会議システム「オンライン講座の設計及び|

におけるw

11

# 〜令和5年度の13団体決定

して開催するものです。会場は県民交流する場となるとともに県民の交流の場と化活動に取り組む団体の学習成果を発表「生涯学習ふれあい展示」は、創作・文 ンター 階ギャラリー 第1です。

# ï |回7月8日(土)~7月16日(日

同好会」 | 紙自主 ③県立青少年研修センター④上之園紀放送大学鹿児島学習センター②城西写友 《自主学習グループ「杉の実」⑥南大隅押花・花クラフト教室⑤鴨池公民館絵

# 第 2 ·回10月28日(土)~11月5日(日)

1一フラワーカー (1)武岡デジカ 同好会サークル「ゆめの実」 7年自然の家④精神保健福祉ボランティアーフラワー宮路慶子教室」③国立大隅青3武岡デジカメ同好会②西之表市「ペー ⑥県立南薩少年自然の家

### 7 $\mathcal{O}$ 手

がある☆

◇講師

交流センターや市 を交付し した講座 受講した講座を自分で記 ます。 7 「数に応じて「 「学びの手帳」 「奨励 賞 学習施設 は県民 (賞状)

◇感想

きました。



学びの手帳

40単位 ★ 賞

80単位 ★★ 賞

120単位 ★★★ 賞











懇談会(全体会)の様子 い意ン先つテなり協
、見夕生の一方方力
今次で表力
、 を 具制体の 出の 方行がセの4を的あな研

ます。

が材や貸出の多かった教材をホーゼひ御利用ください。年度ごと

7

W

ます

Ó

あった教材を購入して

16 ミリ



# ★生涯学習県民大学講座 主業の紹介

### 令和5年2月に肝付町で実施 2 月 4 日 主

◇【講座1】☆会場 肝付 践 ◇期 健 康 寿 命 [1]参加者35名肝付町文化センタ 延 延伸の ための 運 動 0 効 果と

⇔講 師 鹿 屋 体育大学スポー 垣内真樹教授 ツ生命科学系

◇感想 ました。 や介護 践方法につ 学 防中 身体も 高齢 のための運 Ċ 脳も生き生きとなりました。 実技を交えて紹介くださ 者 を (動の効果や運動の実)(象とした健康づくり

運動につ わるか  $\Diamond$ 「ゲームやスマ [座2] いて ハマホにハマる子どもとどう関参加者381名 深く教えて頂き大変良かっ た

き県民

3大学中f

央

セ

解や関わりに役立つ内容を講演していただケーションやルール作りなど、子どもの理がある現代の子どもたち。親子のコミュニの内容があるががのいた頃から近くにスマホ の見直しや工夫を親子で一 ネッ 志學館大学人間関係学部 トやゲームにつ 松本宏明 緒に考えていき 准教 ル 1 ル う内推もの進 催しました。

『本県の生

涯学習推進セン

シー

機関としての大学等の持続可

もので、 令和5の大学等が自由進を図るため、 大学等連携懇談 -と高等教育! · 県 視

| 治体から要望のちっこで、日本、VHS2090本、16ミニーまた、視聴覚教材として、D ページでお知らせしまでの応募要項や受賞者、こさんの応募をお待ちして詳年度の募集に関して詳ないは、夏に募集を開始 ージでお知らせします 和5年度の自作視聴覚教材コン 夏に募集を開始しますの 応募をお待ちしています て詳しく 受賞作品 D V ホーム 5 度 年度と

聴覚教材づくりの奨励と視聴覚教材 用の啓発を行ってい で学習効 ツ果を高い め

# お知らせ

教

連

盟

か

### • 協計

東棟1階にある共生・協働 最終回となる今回は, (協働活動促進課) からの情報提供です。

実

### ーは、教育・福祉・環境・地域づ

くりなど、地域社会の様々な分野における県 民のみなさんの自発的で主体的な社会貢献活 動を支援する中核的な拠点です。

社会貢献活動に取り組む方々をはじめ、県民 の皆様にも共生・協働の地域社会づくりについ て御理解を深めていただくよう、次の取組を実 施しています。

### 活動支援

- 社会貢献活動のための法人設立や資金調達 などに関する各種講座の開催
- 社会貢献活動に必要な会議や打合せ等のた めの交流スペース等の設置

- 展示・プレゼンスペースやホームページ等 による情報の発信
- 広報用チラシ等の印刷製本に係る機器の設置

- 協働に関する相談
- NPO法人の設立・運営などに関する相談 一部の市町には権限を移譲しています。)



本センター内は、展示・ プレゼンスペースなど自由 に見学可能になっています ので、県民<sup>なさ・</sup> 来館・ ので, 県民交流センターへ 来館された際には、お気軽 にお立ち寄りください。